

本資料のうち、枠囲みの範囲は機密に係る
事項ですので公開することはできません。

伊方発電所安全審査資料	
資料番号	3-1
提出年月日	令和元年11月7日

伊方発電所の発電用原子炉の設置変更

(3号発電用原子炉施設の変更)に係る

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則

第5条第2項第4号発電用原子炉の運転に要する

核燃料物質の取得計画について

令和元年11月
四国電力株式会社

【説明資料】

資料 1 発電用原子炉の運転に要する核燃料物質の取得計画を記載した書類

資料 2 本発電用原子炉が必要とする核燃料物質の確保について

添付 2 - 1 ウラン需給バランス

資料 3 本発電用原子炉の転換役務の確保について

添付 3 - 1 転換役務バランス

資料 4 本発電用原子炉の濃縮役務の確保について

添付 4 - 1 濃縮役務バランス

資料 5 本発電用原子炉の成型加工役務の確保について

発電用原子炉の運転に要する核燃料物質の取得計画を記載した書類

3号炉の運転に要する核燃料物質（ウラン）については、既に当社がカナダ、カザフスタン等のウラン会社との間で締結した長期購入契約等によって確保しているウラン精鉱、濃縮ウラン及び使用済燃料の再処理により回収される減損ウランから充当する予定である。

これらの長期契約及び減損ウランによる確保済の量（天然ウラン換算）は、現時点では、当社の全累積で平成38年度約15,200tUであり、これに対し、当社の全累積所要量は、平成38年度約12,500tUと予想される。したがって、3号炉の当面の運転に必要なウランについては十分まかなえる量を確保済である。なお、それ以降の所要ウランについては、今後の購入契約により確保する予定である。

天然UF₆への転換役務については、フランスのオラノ社（Orano Cycle）、カナダのカメコ社（CAMECO）、アメリカのコンバーダイン社（Converdyn）との転換役務契約により、3号炉の当面の所要量を確保しており、それ以降に関しても今後の追加契約によって調達する予定である。

また、3号炉の所要濃縮役務については、アメリカのUSEC社との間で締結した濃縮役務契約、フランスのオラノ社（Orano Cycle）との、濃縮役務契約、日本原燃（株）との濃縮役務契約及び今後の追加濃縮役務契約によって調達する予定である。

一方、3号炉の運転に使用する核燃料物質（プルトニウム）については、当社の使用済燃料の再処理により回収されるプルトニウムを利用していく予定である。

3号炉用燃料の成型加工役務については、国内外事業者との契約により確保する予定である。

本発電用原子炉が必要とする核燃料物質の確保について

当社が必要とする核燃料物質（ウラン）については、添付 2 - 1 に示すとおりである。

当面の運転に必要なウランについては十分まかなえる量を確保済みであり、それ以降に関しても、今後の契約により確保する予定である。

添付 2 - 1 ウラン需給バランス

ウラン需給バランス

年 度 (平 成)		2016 (28)	2017 (29)	2018 (30)	2019 (31)	2020 (32)	2021 (33)	2022 (34)	2023 (35)	2024 (36)	2025 (37)	2026 (38)
所要量	累 計											12,493
	累 計											15,229
確保量	単 年 度											
	A社											(*1)
	その他											

(*1) カナダ、カザフスタン等のウラン会社を含む [] 社
 上記枠内の数量について、端数処理のため、加算結果が一致しないことがある。

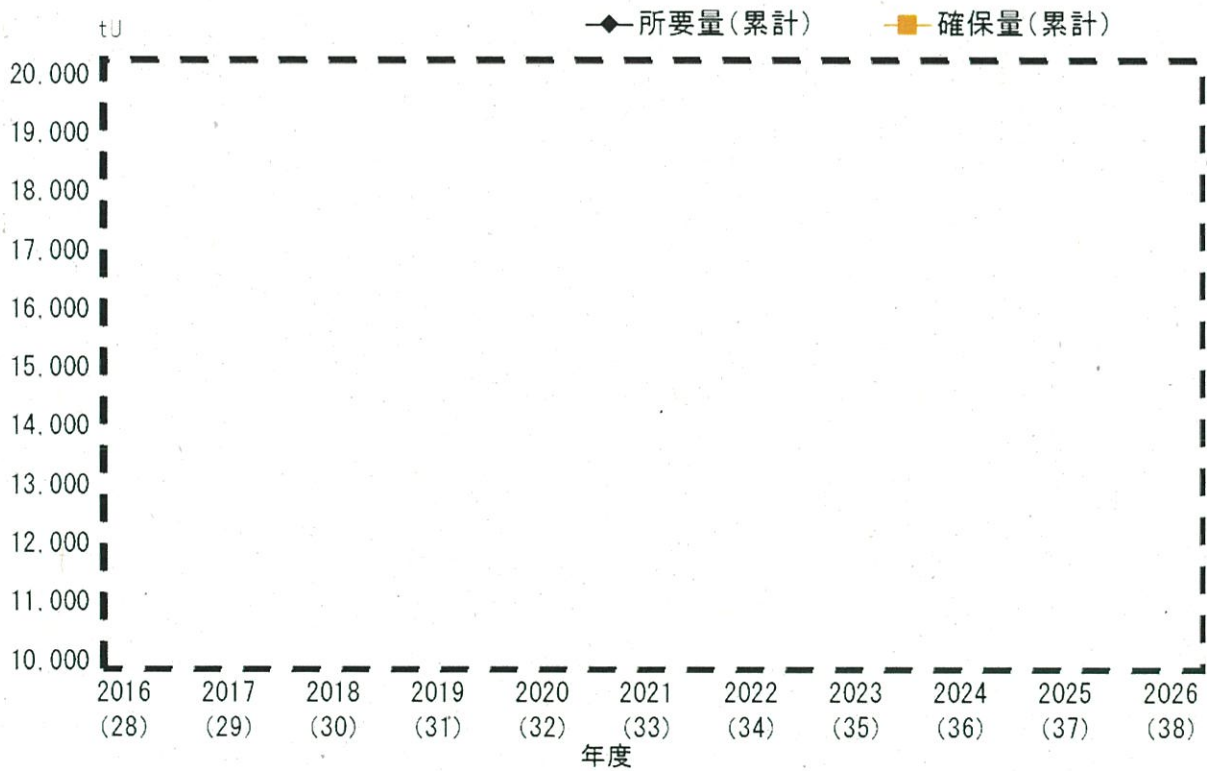


図 ウラン需給バランス推移

添四-3

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので
 公開することはできません。

本発電用原子炉の転換役務の確保について

当社が必要とする転換役務については、添付 3 - 1 に示すとおり、当面の所要量を確保しており、それ以降に関しても、今後の契約により確保する予定である。

添付 3 - 1 転換役務バランス

転換役務バランス

年 度 (平 成)		2016 (28)	2017 (29)	2018 (30)	2019 (31)	2020 (32)	2021 (33)	2022 (34)	2023 (35)	2024 (36)	2025 (37)	2026 (38)
所要量	累 計											
	累 計											
確保量	単 年 度											
	有/社											
	加/社											
	コパ-ガイ社											

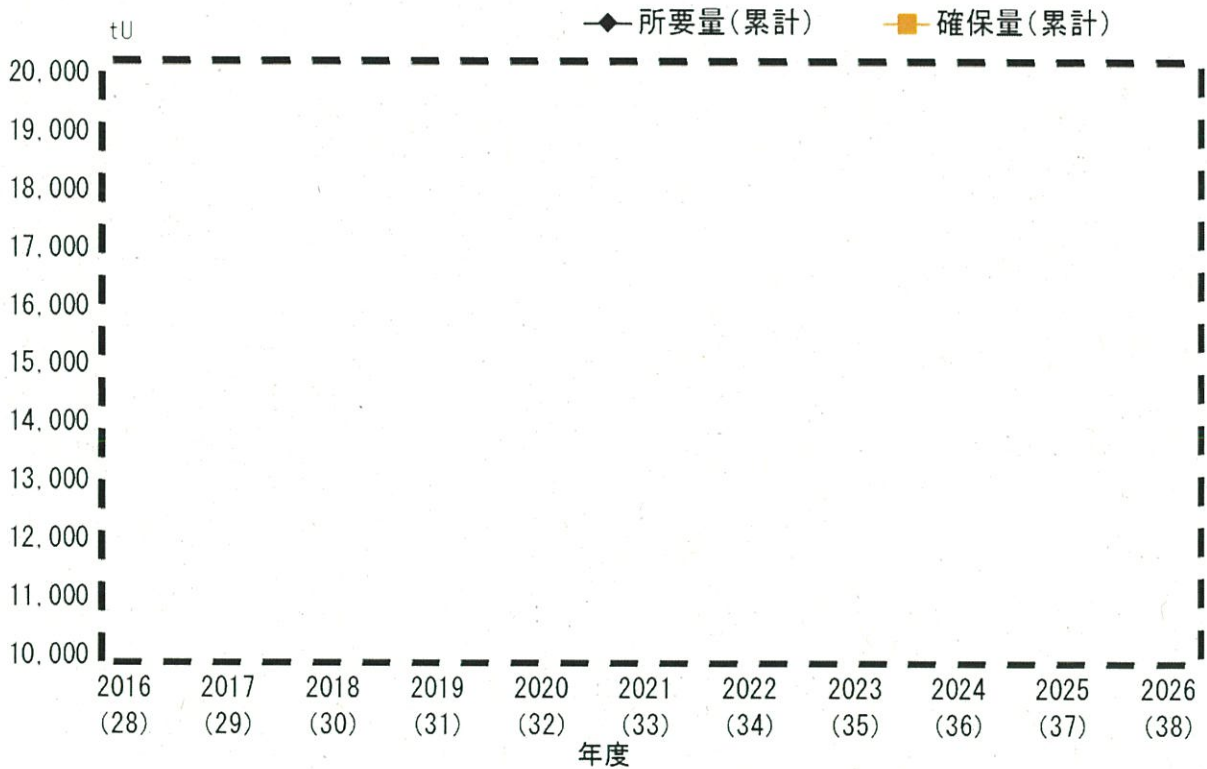


図 転換役務バランス推移

添四-5

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので
公開することはできません。

本発電用原子炉の濃縮役務の確保について

当社が必要とする濃縮役務については、添付 4-1 に示すとおり、当面の所要量を確保しており、それ以降に関しても、今後の契約により確保する予定である。

添付 4-1 濃縮役務バランス

濃縮役務バランス

年 度 (平 成)		2016 (28)	2017 (29)	2018 (30)	2019 (31)	2020 (32)	2021 (33)	2022 (34)	2023 (35)	2024 (36)	2025 (37)	2026 (38)
所要量	累 計											
	累 計											
確保量	単 年 度											
	USEC社											
	朽ノ社											
	日本原燃株											

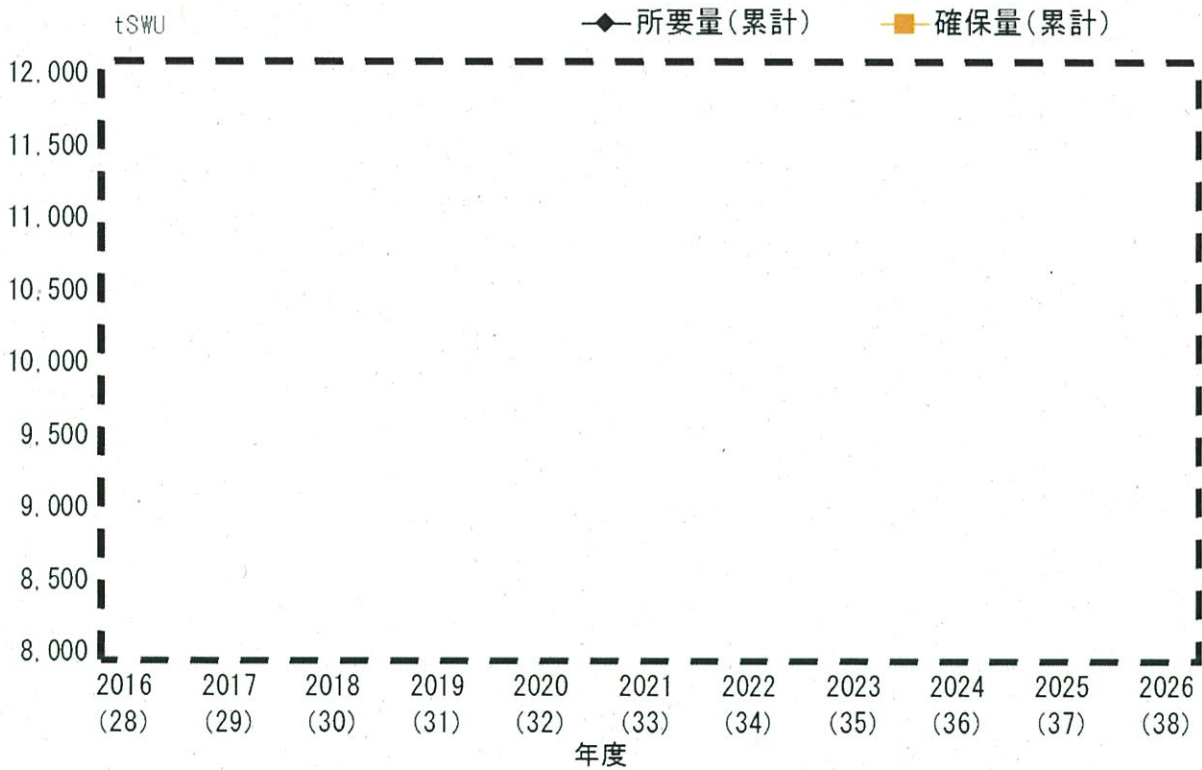


図 濃縮役務バランス推移

添四-7

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので
公開することはできません。

本発電用原子炉の成型加工役務の確保について

当社は、装荷する燃料タイプ、加工コスト等を適切に反映することが出来るよう、
[]単位で契約を []との間で締結し
ている。

それ以降の未契約分に関しても、今後の契約により確保する予定である。